

各地区業況アンケート結果（2021年4月調査分）

（2021年4月23日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、4月19日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ74名の回答があり（回答率52.5%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = $(A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 前年割れ企業は約4割

問1】貴社の3月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	13	5	26	13	16	73	78
比率	18%	7%	35%	18%	22%	DI-19	DI-73
売上金額/前年同月比	15	10	18	17	13	73	79
比率	20%	14%	25%	23%	18%	DI-4	DI-67

2. 収益若干回復傾向、黒字5割強

問2】貴社の3月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	20	19	23	8	3	73	79
比率	27%	26%	32%	11%	4%	DI+62	DI+14

3. 新年度に入り荷動き落ちる

問3】貴社の営業窓口から見て4月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	28	17	7	58	-43	-40
民間建設向	1	6	24	25	6	62	-47	-57
自動車向	1		26	6	4	37	-32	-21
その他需要家向	2	7	28	18	3	58	-22	-28
仲間取引	2	6	26	24	4	62	-35	-51
計	6	25	132	90	24	277	-36	-41
比率	2%	9%	48%	32%	9%			

4. 先行きも盛り上がる気配なし

問4】貴社における向う5月から7月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	2	13	28	25	5	73	78
比率	3%	18%	38%	34%	7%	DI-25	DI-32

5. 薄中板、不足の状態変わらず深刻化

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	品種別	A	B	C	D	E		4月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI												
-31	-32	-38	-24	-25	-4	0	-7	-10	-7	3	-3	-15	鉄筋用丸鋼		3	24	3		30	0
-27	-32	-26	-35	-38	-17	-15	-16	-10	-11	0	-4	-11	構造用丸鋼		3	22	1		26	8
-17	-26	-23	-25	-23	-14	-9	-13	-15	-6	-3	-3	-6	平角鋼			31			31	0
-13	-31	-30	-20	-19	-4	-3	0	-3	20	12	21	3	H形鋼	1		26	3		30	-3
-36	-29	-38	-38	-41	-33	-29	-21	-20	-13	0	12	19	コラム		5	15	2		22	14
-18	-16	-24	-34	-29	-14	-12	-9	-15	-9	-6	-8	-5	小形山形鋼		1	30	2		33	-3
-24	-25	-33	-30	-26	-10	-12	-12	-14	-9	-6	-11	-11	中形山形鋼			30	2		32	-6
-24	-32	-39	-40	-27	-18	-12	-13	-17	-13	-3	-11	-11	溝形鋼			30	2		32	-6
-24	-18	-21	-30	-27	-27	-17	-23	-16	-11	7	-7	-6	軽量形鋼C形		3	21	3		27	0
-15	-17	-26	-21	-25	-25	-16	-26	-22	-11	5	-5	-5	軽量形鋼広巾		1	17	1		19	0
-58	-71	-65	-70	-57	-58	-41	-3	10	35	108	127	132	冷延薄板	19	5	5			29	148
-56	-73	-58	-71	-64	-54	-35	0	31	58	105	106	105	熱延薄板	11	12	9	1		33	100
-66	-76	-64	-62	-53	-57	-34	13	23	34	114	145	139	表面処理鋼板	15	13	4			32	134
-70	-85	-77	-78	-80	-67	-47	18	34	75	127	144	143	酸洗鋼板	19	10	3			32	150
-49	-64	-61	-71	-46	-49	-22	15	18	49	89	93	84	中板	11	17	11	1		40	95
-63	-63	-72	-60	-46	-52	-41	-8	-8	15	33	43	34	厚板	2	11	25	1		39	36
-50	-26	-25	-29	-29	-42	-40	-11	-18	-9	0	10	22	極厚板	1	3	17			21	24
-20	-32	-21	-33	-26	-24	-21	-10	0	0	6	19	26	縞板	1	3	25	1		30	13
-30	-39	-38	-45	-36	-33	-26	-20	-15	-9	8	6	6	中径角		8	23	3		34	15
-20	-24	-27	-21	-22	-23	-19	-23	-11	-3	-3	-6	0	ガス管黒		6	26	2		34	12
-20	-27	-27	-23	-29	-19	-18	-18	-16	-6	-5	0	3	構造用鋼管		4	27	2		33	6
-35	-40	-41	-41	-37	-31	-22	-8	-3	9	31	35	34	計	80	108	421	30	0	639	37

6. 需要低調のまま高値玉入荷で採算悪化を懸念、価格転嫁急ぐ

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	形鋼の荷動きはなかなか上向かない。引合いは増えつつあるが、決まりが悪い。値上げは道半ばで仕入値上げを再販価格に転嫁できていない。
	B	公共工事が少ない。民間物件の見積りはあるが、進まない。
	C	民間物件はようやく出てきたが、絶対量はかなり少ない。価格転嫁は相変わらず遅れている。
	D	3月は異形棒鋼の価格急騰に伴う仮需のため売上数量、金額ともに多かった。4月以降の案件は決して多くなく高市況低需がとても不安である。
東北	A	全体的には板関連を除き静かな動きで推移。依然コロナの影響で本来の営業が出来ず、他社の情報も少ない。
	B	工作機械の受注、引合いが増えてきたので、3ヶ月先位までは忙しくなると思われる。また、民間建設、公共建設は引き続き安定している。
	C	価格高騰により、先の物件は様子見となり、契約が増えていかない状況。
	D	物件が少ない中、ゼネコンの厳しい価格についていかざるを得ない。下期に期待する。

新潟	A	薄板の手当てが厳しく入荷するも即出荷状況になる。低利益の少量販売から早く脱したい。
	B	全品種、値上げが続いている。特に薄板（表面処理、ボンデ、磨鋼板、酸洗）の値上げが進んでいるが、製品のデリバリーが遅れているため在庫が薄くなっているため注意したい。
	C	体力勝負、我慢比べの時代ではないと思う。
	D	薄中板のコイルが少ない状況が続く中、コイルを使用する二次製品（角パイプ、C形鋼）の出荷が遅れている。3月は年度末ということもあり、動きはあったが4月に入り落ち着いている。
	E	3月は月初の好調さをそのまま月末まで持続できた。値上り前の駆け込み需要もかなりあった。自動車、建機は好調を継続。作業工具はやや悪く、物流関連機器はひと段落。
	F	需要は先細りの様相だが、鋼材価格の先高感が依然として強い。顧客には現状の説明を丁寧に行い、値上げに対して理解を求めていかなければならない。
	G	薄板は供給面での調整が続いており、品薄感は否めず、価格も上げ圧力が強い。建材は足元の物件が少なく停滞気味のため上げ基調ではあるものの全体的に遅れ気味となっている。
神奈川		原料高での高炉メーカーによるホットコイルの大幅値上げ要請が起こり、当然、製造メーカーにも影響され、暫くの期間は値上げの話題になると思われる。中小物件の少なさが続いており、一部のファブリーケーターは手空きの業者も出ている。価格だけが1人歩きしている感じにもとれます。
東京	A	薄板の中でも特に冷延の入庫が超タイト。当社でも在庫欠品により客先に迷惑をかけることになった。調達できず、実に情けない。
	B	4月から単価値上げに踏み切った。仕事量は1～2月に比べると増加したが、低粗利の品物が目立つので、高付加価値製品の需要先を探していく必要がある。
	C	引き続き品薄状態が続いている。値上げ転嫁についても一部の流通で特定ユーザー向けへの安売りも目立ち思うように進んでいかない。価格転嫁をどんどんと進めていきたい。
	D	（店売り関連）建設機械の生産持ち直しもあり、前年比でみると増加。（需要家関連）海外のインフラ投資の増加もあり、建設機械も増加していることから前年比でみると増加。
	E	（構造用丸鋼）メーカーからの値上がった材料が入ってくるので、価格転嫁が課題になる。仲間問屋でも歯抜けが出ている様子。
	F	（表面処理鋼板）材料の逼迫状況がだいぶ緩和されてきた。建築分野の需要が低調なだけに高炉の値上げに追い付いていけるかが心配である。
	G	現状、価格だけが1人歩きして、需要（実需）の盛り上がりは全く感じられない。3月後半より突入し、4～6月の自動車向けは、支給材、ヒモ付き材を除くと半導体の件を含め非常に低い水準で横ばいが想像できる。
	H	ここ2～3ヶ月とほぼ横ばいの状況。今後、若干上向きの気配はある。
	I	全鉄連は需要を喚起することを行政に働きかけるべきだ。
静岡	A	メーカー事情、流通事情、鉄鋼コンシューマ（需要家）の事情、すべてバラバラではないか。世間は東京五輪（聖火リレー等）コロナ禍でどの自治体もストラグル（葛藤）状態（ワクチンなど）。見積物件は増加傾向であるが、メーカー値上げ玉も出荷され、棚変われども買手市場に追従しているとは情けない。大手流通の財力と大型プロジェクトの供給姿勢にエールを送ろう。下場の「つばぜり合い」もなくなると思う。公共土木案件に令和2年度予算物件がだらだら具現化している現状。役人、元請負、メーカーも承知の事実で値上げアナウンスなんか関係なしというのは、おかしくないのか。不良債権などの実害はない。

静岡	B	輸送機関連ユーザーの稼働率は、他と比較して高めで推移しているが、全般的に今ひとつの感触。各種材料の値上げは待ったなしの状況だが、その進め方、商工にはバラツキがある。ユーザーの抵抗も依然として強い。
石川	A	薄板はとりわけ、冷延、表面処理鋼板の入手が大変困っている。メーカーの数が減ったせいもあるかもしれないが、それでも長年コンスタントに取引を続けてきたメーカーや流通から全く供給が受けられなくなるとは考えてもみなかった。情けないことだが、逆にこれからのことを考える上でいい機会になったと思われる。
	B	薄板ユーザーの操業率は濃淡に差があり、超品薄状況は、おかしなことに本調子でないユーザーや工作機械業界には暴騰防止に協力している。この業種が本調子になってくると大暴騰になるが、そこはメーカーも何か一考するだろう。高炉メーカーには自動車中心にひも付き価格の是正に尽力してほしい。このままでは国際的な問題になるだろう。
富山		中小鉄骨はもちろん、修繕、個人向け販売量も20～40%減少してきている。5月～7月、秋需に少々の回復の噂もあるが不明である。公共事業のうち、2024年新幹線の福井駅開通に合わせた物件が動き始めている。大口ユーザーの赤字化によるコストダウン要請と価格転嫁が折り合わず相見積もりの物件が増加している。
福井		年度末から新年度に向け需要に転機なし。それでも価格は強く品薄状態、違和感が大きい。
大阪	A	(3月在庫販売) H形鋼は2月比減少。一般形鋼は増加しているが稼働日数分しか増加していない。4月に入っても荷動きはあまり変わっていない。スクラップ価格が堅調。メーカーは強き。流通各社とも高値玉が入ってくるため採算ラインにのるまで、販売価格を押し上げなければならぬ。
	B	メーカーの大幅な値上げの割には再販価格への転嫁が緩慢。流通、下請け需要家が負担できるような値上げ幅ではなく、このままの状況が続けば信用問題が懸念される。
兵庫		コロナ後を見据えて外国人実習生の対象職種の当業界の追加を進めていただきたい。
岡山		3月はスポット的な物件売上があり、前年比増加したが、通常のお客様への販売はここ数ヶ月の流れと同じく調子がいまひとつ。酸洗、冷延、無規PL(鋼板)の入手難が続いている。
香川		建築、中小物件は相変わらず厳しい状況が続くと思われる。造船、建機など主力産業もなかなか回復の目処が立っていない状態。需要が厳しい中、価格転嫁はなかなか浸透せず流通にとって売上、採算ともに厳しさを増している。
北九州		需要低迷に伴い、販価の上昇が鈍い。条鋼類については、1月契約分の高い玉も入荷してきているため8万台中盤で販売しても運賃を差し引くと赤字になる早急に9万円に近い相場にする必要がある。
福岡		内外価格差拡大と店売り分野の引受け調整等で仕入価格は急騰しているが、小口ひも付き需要家向けの価格差が影響しているのか顧客の抵抗は強く、仕入れ上昇分をタイムリーに転嫁するのは困難な状況。回復基調にある建機を除く他の分野は復調機運に乏しく溶断業は仕事量の確保に苦慮している。